

CIインサイトレポート - R A - 【 目次見本 】

2019. 1
株式会社社会情報サービス
Social Survey Research Information Co., Ltd

§ レポート全体概要

調査対象疾患	R A (関節リウマチ)					
調査ポイント	Bio (生物学的製剤)		エタネルセプトBSのヒット要因・今後の処方動向を徹底検証！ エタネルセプトBSの急成長に伴い臨床では処方薬剤が淘汰 ⇒ ⇒ <u>臨床上で必要な(残る)薬剤を徹底予測！</u>			
	JAK阻害薬		(JAK1を中心に) 開発薬について徹底検証！ ⇒ ⇒ <u>今後のポジショニング(処方段階)を徹底予測！</u>			
	治療動向		<Bio/JAKの市場動向予測を踏まえた上で> <u>RA治療のパラダイムシフトを徹底予測！</u>			
対象薬剤	既存薬	Bio (生物学的製剤)	TNF	レミケード、エンブレル、ヒュミラ、シムジア、シンポニー		
			<BS>	インフリキシマブBS、エタネルセプトBS		
			抗IL-6	アクテムラ、ケブザラ		
		CTLA-4	オレンシア			
		JAK阻害薬	JAK1/2/3	ゼルヤンツ		
		JAK1/2	オルミエント			
	開発薬	Bio (生物学的製剤)	抗フラクタルカイン抗体	E6011		
			抗α-9インテグリン抗体	ASP5094		
		経口剤	JAK 阻害薬	JAK1/3	ASP015K ペフィシチニブ	
				JAK1	ABT-494 ウパダシチニブ	
			GS-6034 フィルゴチニブ			
BTK阻害薬	BMS-986142、LY3337641					

§ Part別概要

調査種類	Part I データ分析編	Part II 定量調査編	Part III KOLヒアリング編
調査手法	(オープンソースを基にした) データ分析	インターネットによるWEB調査	深層面談調査
調査対象医師 (対象医師数)	-	RA患者を診療及びBioを処方している 医師 202名 <内 JAK阻害薬治験参加医 42名>	R A TOP KOL 3名 <関連学会理事・役員> (リウマチ内科医 2名、整形外科医 1名)
調査対象施設・ 診療科	-	リウマチ科/リウマチ内科/膠原病内科 整形外科 <共に HP/GP>	リウマチ内科 HP 整形外科 HP
調査内容	<p><既存薬> プロファイル、作用機序・特性、 薬価、販売高推移、臨床試験、 関連論文</p> <p><開発薬> プロファイル、作用機序・特性、 臨床試験、関連文献</p> <p><その他> 注目企業動向、学会情報 <別添> 抄録集 (関連論文)</p>	<p><Bio></p> <ul style="list-style-type: none"> 薬剤別処方段階別処方状況 エタネルセプトBSの採用・処方状況 エタネルセプトBSの処方対象患者 エタネルセプトBSの今後の処方意向 他のBioからエタネルセプトBSへの切り替え 想定患者割合 <p><JAK></p> <ul style="list-style-type: none"> 薬剤別パターン別処方状況 ゼルヤンツと比較したオルミエントの評価 2剤になったことによるJAK阻害薬の 処方意向・位置付けの変化 <p><開発薬></p> <ul style="list-style-type: none"> 開発薬の薬剤別認知状況 開発薬の薬剤別処方意向・期待度 <p><今後の薬剤処方動向></p> <ul style="list-style-type: none"> 今後JAK阻害薬が5剤になった場合の処方 意向・位置付けの変化 今後JAK阻害薬が5剤になった場合のJAK・ Bioの処方状況の変化 <p>等</p>	<p><Bio></p> <ul style="list-style-type: none"> 患者タイプ別1st Bio エタネルセプトBSの処方状況 エタネルセプトBSの今後の処方動向 * <p><JAK></p> <ul style="list-style-type: none"> 薬剤別パターン別処方状況 オルミエントの評価 JAK阻害薬の今後の処方動向 * <p><開発薬></p> <ul style="list-style-type: none"> 開発薬の評価 <p><今後の薬剤処方動向></p> <ul style="list-style-type: none"> JAK阻害薬のポジショニング向上の可能性と その施策 今後のJAK阻害薬の処方動向の変化 * 今後のBioの処方動向の変化 * 今後临床上で必要なJAK阻害薬とBio <p>等</p> <p>* の設問は、国内全体動向について予測</p>
調査実施時期	2018年10月～12月		
体裁/頁数	Part I・・・PPT (or EXCEL)、Part II & III・・・PPT / A4 計約500ページ (報告書本編のみ、別添は含まない)		
レポート価格	フルセット<3パート> 180万円 (税別)		* Part別販売 可

< Part I データ分析編 目次 >

§ 調査概要	3		
I. 既存品	4	IV. 学会情報	71
1. プロファイル	5	1. 日本リウマチ学会	
2. 作用機序・特性	13	1-1. 総会・学術集会	72
3. 薬価	28	1-2. 北海道・東北支部学術集会	84
4. 販売高推移	37	1-3. 関東支部学術集会	86
5. 臨床試験 (UMIN)	40	1-4. 中部支部学術集会	88
6. 臨床試験 (JAPIC)	48	1-5. 近畿支部学術集会	90
II. 開発品	53	1-6. 中国・四国支部学術集会	91
1. プロファイル	54	1-7. 九州・沖縄支部学術集会	92
2. 作用機序・特性	59	2. 日本臨床リウマチ学会	94
3. 臨床試験 (JAPIC)	62	3. 日本臨床免疫学会	98
III. 注目企業動向	64	4. 日本免疫学会	100
1. アステラス製薬株式会社	65	5. 日本整形外科学会	101
2. アツヴィ合同会社	67	6. 日本小児リウマチ学会	102
3. プリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社	69	V. 関連文献	105
		1. 既存品	
		1-1. 既存品・製品別	106
		1-2. 既存品・複数	133
		2. 開発品・製品別	144
		3. 既存品+開発品	148

< Part II 定量調査 要約編 目次 >

	ページ
§.調査概要	3
§.回答者プロフィール	4
§.総括	5
§.要約	13
1) 診療状況	14
2) 生物学的製剤の処方動向・評価	16
3) エタネルセプトBSの採用・処方動向	31
4) JAK阻害薬の処方動向・評価	43
5) 開発薬の認知状況・処方意向・期待内容	61
6) 今後の薬剤処方動向	76

< Part II 定量調査 結果編 目 次 >

	ページ		ページ
§.調査概要	3		
§.回答者プロフィール	4		
§.調査結果	5		
1) 診療状況	6	4) JAK阻害薬の処方動向・評価	82
1. 診療患者数	7	1. 薬剤別処方状況	83
2. 薬剤種類別処方状況	8	2. 薬剤別パターン別処方状況	88
2) 生物学的製剤の処方動向・評価	11	3. エタネルセプトBSへの切り替え想定患者割合	95
1. 臨床上で処方している薬剤	12	4. オルミエントの評価・満足度	98
2. 患者タイプ別第一選択薬	14	5. ゼルヤンツと比較したオルミエントの評価	103
3. 薬剤別処方状況	24	6. オルミエントの今後の処方意向	106
4. 薬剤別処方段階別処方状況	29	7. オルミエントの今後の処方開始予定・時期	107
5. 薬剤別満足度	44	8. 2剤になったことによるJAK阻害薬の処方意向・位置付けの変化	108
3) エタネルセプトBSの採用・処方動向	57	9. 薬剤別今後増加が見込まれる処方パターン	109
1. 現在の採用状況	58	5) 開発薬の認知状況・処方意向・期待内容	112
2. 今後の処方意向	59	1. JAK阻害薬の治験参加状況	113
3. 処方対象患者	60	2. 開発薬の薬剤別認知状況	114
4. 経済的な問題から生物学的製剤の処方に至っていない患者割合/それらの患者に対するエタネルセプトBSの処方想定割合	69	3. 開発薬の薬剤別処方意向・期待度	124
5. 他の生物学的製剤からエタネルセプトBSへの切り替え想定患者割合	72	4. 開発薬の薬剤別期待ポイント	137
6. 他の生物学的製剤からエタネルセプトBSへの切り替えにおける薬価面以外の利点・メリット	81	6) 今後の薬剤処方動向	153
		1. 今後JAK阻害薬が5剤になった場合の処方意向・位置付けの変化	154
		2. 今後JAK阻害薬が5剤になった場合のJAK阻害薬・生物学的製剤の処方状況の変化	155
		3. 今後のJAK阻害薬の処方動向において影響度が高い薬剤	158
		4. 今後JAK阻害薬が5剤になった場合に増加が見込まれる処方パターン	171
		5. 今後JAK阻害薬の処方増加・位置付けを高める為の必要条件	173
		6. 将来的に臨床上で必要なJAK阻害薬の薬剤数・薬剤	186
		7. JAK阻害薬5剤発売後の生物学的製剤の処方開始時期	191
		8. JAK阻害薬5剤発売後の臨床上で必要な生物学的製剤の薬剤数	192
		9. JAK阻害薬5剤発売後の臨床上で必要な生物学的製剤の薬剤	193

< Part Ⅲ K O Lヒアリング編 目 次 >

§ 調査概要	3
§ 調査対象医プロフィール	5
§ 総括	6
§ 調査結果	
1.現状で処方しているBio	14
2.患者タイプ別1st Bio	15
3.エタネルセプトBSの処方状況	18
4.エタネルセプトBSの今後の処方動向	20
5.JAK阻害薬の処方状況	24
6.オルミエントの評価	25
7.JAK阻害薬の今後の処方動向	26
8.開発薬の評価	28
9. JAK阻害薬のポジショニング向上の可能性とその施策	33
10.今後のJAK阻害薬の処方動向の変化	35
11.今後のBioの処方動向の変化	36
12.今後臨床上で必要なJAK阻害薬とBio	37